

マークのご案内



「託児付講座」を用意しています。
原則2歳6ヶ月以上の未就学児をお預かりしますので、子育て中のお母さん方のご参加をお待ちしています。
なお、お子様連れでの受講は、できませんのでご了承ください。



一般募集 なし

の表示講座は、区民カレッジ生で定員数となりましたので、一般の募集はありません。

まなびの講座 ①-1 一般募集 20名



自然科学講座 — 植物の世界 —

主題 緑色の色素を持ち、光合成によってエネルギーを生産する生物・・・米や野菜など食物としての植物、花や植木など鑑賞用としての植物、バイオエタノールなどエネルギー資源としての植物、医薬品開発に欠かせない植物、なによりバクテリアの時代から数十億年、地球上に酸素をもたらす働き・・・植物には私たちの生活に欠かすことの出来ない様々な働きがあります。身近な植物から生物多様性と進化を学びます。

講座番号 ①-1

期 間 10月～11月
時 間 午後2時～4時
場 所 築地社会教育会館ほか
回 数 5回
受講料 1,500円
入場料 300円
定 員 30名
※10/19は、午後1時～3時30分
浜離宮恩賜庭園集合

回数	日程	講義内容	講師
第1回	10/ 5(月)	木の成長と樹齢	萩原 信介
第2回	10/19(月)	自然観察 浜離宮恩賜庭園の植物	
第3回	10/26(月)	種子と果実の戦略	
第4回	11/ 9(月)	帰化植物の盛衰	
第5回	11/16(月)	温暖化と植物	

講師紹介

萩原 信介 (はぎわら しんすけ)

国立科学博物館附属自然教育園主任研究官。1947年神奈川県生まれ。国立科学博物館研究主幹。東京大学農学部大学院修了。都市林・ブナ林・生物季節の研究。自然観察の指導。空飛ぶタネの模型やムクロジ笛を考案。著書に『木の本』(福音館書店)、『植物の世界』(ニュートン)など。新宿区在住。

浮世絵の美と歴史

講座番号 ①-2

期 間	10月～11月
時 間	午後6時30分～8時
場 所	築地社会教育会館
回 数	5回
受講料	1,500円
定 員	60名

主 題 浮世絵には美人画、役者絵、風景画・花鳥画等があり、大江戸の繁栄の様子や、江戸の人々の生活ぶりや風景を今に伝えてくれています。「平木浮世絵美術館 UKIYO—e TOKYO」では、浮世絵の創始である菱川師宣から橋口五葉・伊東深水にいたるまで、浮世絵以降の日本の木版画を、重要文化財11点はじめ約6000点収蔵しています。

この講座では当美術館所蔵の『六大浮世絵師』（鈴木春信、鳥居清長、喜多川歌麿、東洲斎写楽、葛飾北斎、歌川広重）の代表作を細密デジタル画像で鑑賞しながら、江戸の歴史を探求していきます。また、講座最終日には、浮世絵摺りの実演を披露します。

回数	日 程	講 義 内 容	講 師
第1回	10/ 6(火)	浮世絵への招待～平木コレクション代表作を通して～	佐藤 光信
第2回	10/13(火)	六大浮世絵師物語① 鈴木春信、鳥居清長	
第3回	10/20(火)	六大浮世絵師物語② 喜多川歌麿、東洲斎写楽	
第4回	11/10(火)	六大浮世絵師物語③ 葛飾北斎、歌川広重	
第5回	11/17(火)	浮世絵木版画彫摺技術にふれる	

講 師 紹 介

佐藤 光信 (さとう みつのぶ)

平木浮世絵財団常務理事・同美術館長。中央大学卒。NHKプロモーションとの協働により浮世絵作品の優れたデジタル化を手がけ、江戸庶民の暮らしの知恵やこれまで見過ごされていた作品に潜む謎を解き明かそうと試みている。また、浮世絵木版画彫摺技術保存に努めており、一般市民対象の“職人の技に触れる集い”を全国展開している。

平木浮世絵美術館の代表作品

- 【鳥居 清倍】初代市川団十郎の暫(重要文化財)
- 【石川 豊信】花下美人(重要文化財)
- 【鈴木 春信】座舗八景 <揃物>(重要美術品)
- 【鳥居 清長】大川端の夕涼み(重要文化財)
- 【喜多川歌麿】高名三美人(重要美術品)
- 【東洲斎写楽】二代目嵐龍蔵の金貸石部金吉(重要美術品)
- 【葛飾 北斎】富嶽三十六景 神奈川沖浪裏
- 【歌川 広重】江戸近郊八景 <揃物>(重要文化財)

六大浮世絵師とは

- 【鈴木 春信】鮮やかな色彩と可憐な美人様式で、錦絵時代(多色摺版画)の幕開けを飾った
- 【鳥居 清長】現実的な時代相を背景に八頭身のプロポーションを持つ天明美人を描いた
- 【喜多川歌麿】心理描写まで試みて美人画の頂点を極めた
- 【東洲斎写楽】役者の個性を追求した
- 【葛飾 北斎】西洋的な感覚で新しい風景描写を試みた
- 【歌川 広重】詩情豊かに日本の風土美を謳い上げた



大人のためのメディアリテラシー入門

主題 「あなたが今日、見知ったことはどのくらい直接経験した
ことですか?」メディア・リテラシーとは、簡単にいえば、さまざま
な情報が飛びかう世の中で、情報のキャッチボールを上手にやろう
ということ。

実際に体を動かして何かを作ったり、テレビ局を見学したり、番
組制作者と話し合ったりと体験型の活動の中で、情報というボール
の受け取り方を体感・習得していただければ…とっております。

※本講座は、テレビ朝日と東京大学の共同研究「ろっぽんプロ
ジェクト」の協力のもと実施いたします。

⑥=六本木・テレビ朝日 ⑦=本郷・東大

講座番号 ①-3

期間 10月~12月
時間 午後1時30分~3時
場所 築地社会教育会館ほか
※3回目は『テレビ朝日』
現地集合・現地解散
回数 5回
受講料 1,500円
定員 30名

回数	日程	講義内容	講師
第1回	10/ 7(水)	メディアリテラシーについて	水越 伸/下村 健一
第2回	10/21(水)	テレビ番組ができるまで	テレビ朝日社員
第3回	11/ 4(水)	テレビ朝日 館内見学 (現地集合・解散)	テレビ朝日社員
第4回	11/18(水)	テレビ番組について考える	テレビ朝日社員
第5回	12/ 2(水)	テレビあそび(何か表現してみよう)	水越 伸

講師紹介

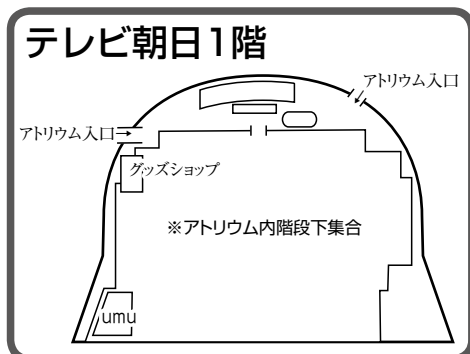
水越 伸 (みずこし しん)

東京大学大学院情報学環准教授。1963年桑名生まれ、金沢育ち。専門はメディア論。市民のメディア表現、メディアリテラシーの実践的研究に取り組む。園芸とバイクをこよなく愛す。主著に『メディア・ピオトープ:メディアの生態系をデザインする』『コミューナルなケータイ:モバイル・メディア社会を編みかえる』など。

※その他 テレビ朝日社員の番組プロデューサーなどが随時参加します。

下村 健一 (しもむら けんいち)

市民メディアアドバイザー。1960年東京生まれ。5才でフリーペーパーを創刊、市民メディア活動を始める。85年東京大学卒、TBS入社、ニュース番組などで活躍。99年TBS退社。市民メディアの制作支援や、各地のメディア・リテラシー出張講師などに従事。



文化財から見る中央区の歴史(生涯学習基礎講座)

主題 中央区は、江戸時代以来わが国の文化・経済の中心として発展してきた地域であり、有形・無形の文化遺産を数多く有しています。

この講座は、中央区の文化的・歴史的価値を発見し保護・活用に取り組んでいる郷土天文館(タイムドーム明石)の協力を得て、文化財から中央区の歴史を紐解きます。

中央区文化財保護審議会委員や文化財調査指導員がそれぞれの立場から講義を行います。

講座番号 ①-4

期 間 11月～12月
時 間 午後6時30分～8時
場 所 教育センター
回 数 5回
受講料 1,500円
定 員 60名

回数	日程	講義内容	講師
第1回	11/ 4(水)	建造物からみた中央区の歴史	玉井 哲雄
第2回	11/11(水)	古文書が語る中央区	清水 聡
第3回	11/18(水)	明治初期、延遠館の煌めく夜会	川越 仁恵
第4回	11/25(水)	百貨店の誕生、その後	野口 孝一
第5回	12/ 2(水)	中央区の遺跡にみる古伊万里	山本 文子

講師紹介

玉井 哲雄(たまいてつお)

人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館研究部教授、中央区文化財保護審議会委員。東京大学大学院工学系研究科建築学専門課程博士課程単位取得満期退学、工学博士。専門は日本建築史・都市史。千葉大学教授を経て、2006年4月より現職。総合研究大学院大学文化科学研究科日本歴史研究専攻教授を併任。

清水 聡(しみず さとし)

中央区主任文化財調査指導員。立正大学大学院博士後期課程単位取得。徳川林政史研究所非常勤研究生。平成16年より中央区文化財調査指導員。専門は日本近世史。区内に残された古文書等を通して、中央区の歴史についての調査をしている。主な論文に「加賀藩牛込邸上地一件」(『都市江戸への歴史視座』所収)など。

川越 仁恵(かわごえ あきえ)

中央区文化財調査指導員。神奈川大学大学院博士課程単位取得。東京家政学院大学非常勤講師。平成20年より中央区文化財調査指導員。専門は、民俗学・民具研究。

今秋は特別展に、中央区が育てた江戸東京の伝統工芸を取り上げる予定。共著に『目からウロコの民俗学』(PHPエディタースクール出版部)。

野口 孝一(のぐち こういち)

中央区総括文化財調査指導員。東京都立大学大学院修士課程修了。「中央区史」「同三十年史」の編纂に参加、平成5年より中央区文化財調査指導員。専門は近代都市史。中央区の広報に「区内散歩」を連載し、中央区の歴史や中央区出身の人物を紹介している。著書に『日本橋-東京の経済史』『銀座物語』『明治の銀座職人話』などがある。

山本 文子(やまもと あやこ)

中央区文化財調査指導員。青山学院大学博士前期課程修了。平成20年より中央区文化財調査指導員。専門は陶磁史。主に肥前磁器を研究。区内の遺跡から出土した資料をもとに中央区の歴史を調査している。著書に『中国出土の元青花瓷資料集成』(共著、亜州古陶磁学会)。

会場図



まなびの講座 ①-5

一般募集 10名



地域を学ぶ「築地・明石町」

-築立350年・築地を彩る文化-(生涯学習基礎講座)

主題 今年は明暦大火後に埋め立てられた築地の築立350年に当たります。江戸期の築地は築地御坊と呼ばれた本願寺を中心に、大名の下屋敷や蔵屋敷の並ぶ武家地でした。また、幕末から明治にかけては、外国人居留地がおかれ、近代文化の中心になって行きました。今回の講座では、江戸から明治にかけて築地を彩った多彩な文化に焦点を当て、学びます。

講座番号 ①-5

期 間 9月～10月
 時 間 午後2時～4時
 場 所 築地社会教育会館
 回 数 5回
 受講料 1,500円
 定 員 40名
 ※10/29は、午後1時～2時30分
 ミズノプリンティングミュージアム集合

回数	日程	講義内容	講師
第1回	9/ 3(木)	築地と築地本願寺建立350年	豊原 大成
第2回	9/17(木)	江戸・文雅人と<西洋>の接点・築地 ーオランダ流御典医・桂川家を中心にー	戸沢 行夫
第3回	10/ 1(木)	松平定信と築地<浴恩園>～江戸時代大名庭園の思想と芸術	今橋 理子
第4回	10/15(木)	近代文化の原点となった築地居留地とは?	清水 正雄
第5回	10/29(木)	福沢諭吉を読んでー学問のすすめの謎 +ミズノプリンティングミュージアム見学	水野 雅生

講師紹介

豊原 大成 (とよはら だいじょう)

本願寺築地別院輪番。京都大学文学部(哲学科・仏教学)卒業、同大学大学院修士課程修了。インド、ペナレス・ヒンズー大学大学院博士課程。浄土真宗本願寺派元総長・本願寺津村別院元輪番等を経て、現職。また、宗会議員・全日本仏教会理事長も務める。西宮・西福寺住職。著書に『親鸞の生涯』『釈尊の生涯』『心の風景』I・II・III『ジャータカのえほん』全5巻『おしゃかさま』全6巻『浄土真宗本願寺派入門聖典』『知っておきたい浄土真宗の行事と仏事』『建法幢』『仰法幢』『輪番独語』など多数。

戸沢 行夫 (とざわ ゆきお)

亜細亜大学・経済学部教授。東京に生まれ、仙台に育つ。慶應義塾大学大学院博士課程修了。日本経済史、日本社会史専攻。慶應義塾大学講師他を歴任し、現職。著書に『明六社の人びと』『桂川家の世界』『江戸のがぞいた<西洋>』『江戸の入札事情ー都市経済の一断面』。共編に、『江戸町触集成』その他論文多数。

今橋 理子 (いまはし りこ)

学習院女子大学教授。港区生まれ。学習院大学大学院人文科学研究科博士後期課程修了。博士(哲学)。日本学術振興会特別研究員、国際日本文化研究センター客員助教授等を経て、現職。専門は、日本美術史(江戸絵画史)および比較日本文化論。著書に、『江戸の花鳥画ー博物学をめぐる文化とその表象』(第17回サントリー学芸賞・第46回芸術選奨文部大臣新人賞受賞)、『江戸絵画と文学ー(描写)とくことば』の江戸文化史(第12回国華賞受賞)、近著に『秋田蘭画の近代ー小田野直武「不忍池図」を読む』などがある。

清水 正雄 (しみず まさお)

NPO法人築地居留地研究会理事長。浜松市出身、東京大学農学部卒業。平成2年株式会社古川組専務を退職。平成元年から20年まで築地居留地明石町資料室室長。築地居留地研究会誌「近代文化の原点・築地居留地」(1～3号)を編集発行する。2007年NPOを立ち上げ、現在に至る。著書に『東京はじめて物語』『東京築地居留地百話』。

水野 雅生 (みずの まさお)

ミズノプリンティングミュージアム館長。入船生まれ。法政大学、ムンヘンアカデミー工芸卒。印刷会社経営の傍ら、印刷史上貴重な文献、印刷機を多数収集し、印刷の博物館を開館。博物館には、2007年に「中央区民文化財」及び「機械遺産」に登録された東京築地活版製造所製、手引き印刷機も収蔵されている。現在は印刷史の研究の他に中央区の歴史についても調査研究している。著書に『プリンティング・カルチャーー今、甦る文字と印刷の歴史ー』。

会場図





中央区老舗物語

講座番号 ①-6

期 間 9月~11月
 時 間 午後2時~3時30分
 ※11/5は、午後2時~4時
 場 所 築地社会教育会館
 回 数 5回
 受講料 1,500円
 定 員 45名

主 題 新しさと伝統が共存するまち中央区は、江戸時代から日本橋を中心に商業が繁栄し、文明開化以降は西洋文明受容の中心地として、経済・文化・情報の面で常に時代の最先端を歩んできました。

この講座は、そんな中央区の歴史の中で暖簾を守り続けてきた「老舗」の物語です。今回は日本橋中心に老舗の創業の歴史や、「日本橋」というまちへの思い入れ、社長さんの人生哲学などをたっぷり語っていただきます。

また、まち歩きガイドによる老舗めぐりを楽しみながら、老舗の味に触れてみましょう。

回数	日程	講義内容	講師
第1回	9/10(木)	日本橋とともに310年	株式会社 にんべん 高津 克幸
第2回	9/24(木)	お灸の歴史と釜屋もぐさ	株式会社 釜屋もぐさ 富士 治左衛門
第3回	10/ 8(木)	刃物と取り組んだ200年 ~創業以来の歴史と最新の技術	株式会社 木屋 日本橋本店 加藤 俊男
第4回	10/22(木)	心つなぐ紙文化を支えてひとすじに	株式会社 ^{はいばら} 榛原 中村 晴子
第5回	11/ 5(木)	老舗めぐり	

講師紹介

高津 克幸 (たかつ かつゆき)

株式会社 にんべん 代表取締役社長。青山学院大学経営学部経営学科卒業。平成5年株式会社横浜高島屋入社。平成8年株式会社 にんべん入社。平成21年代表取締役就任。趣味:スキー

富士 治左衛門 (ふじ じざえもん)

株式会社釜屋もぐさ 代表取締役社長。明治大学商学部商学科卒業。昭和62年11代目治左衛門襲名。日本鍼灸製作組合会長。

加藤 俊男 (かとう としお)

株式会社木屋 8代目当主。早稲田大学理工学部応用金属科卒業。昭和25年(株)木屋入社。金属、刃物メーカーへの講演、指導を行ったり、雑誌、書籍等への寄稿多数。刃物の博士的存在。

中村晴子 (なかむら はるこ)

株式会社 ^{はいばら} 榛原 代表取締役会長。聖心女子大学文学部歴史社会学科卒業。榛原聚玉文庫(はいばらしゅうぎょくぶんこ)文庫長、主任学芸員。



楽しい文章教室

主 題 詩歌が好きの方、小説の好きな方、エッセイを書きたい方、自分史をまとめたい方、さまざまなご希望にお応えする場です。

課題に即した文章(800字)を書いていただき、添削・講評してお返しします。

記すことで、今まで気づけなかった事が見えてきたりします。個々のスキルアップにもなります。

※やる気のある方ならどなたでも。経験・年齢は問いません。

講座番号 ①-7

期 間 10月～12月
時 間 午後2時～4時
場 所 築地社会教育会館
回 数 5回
受講料 1,500円
定 員 30名

回数	日程	講義内容	講師
第1回	10/ 1(木)	さまざまな文章(それぞれの特徴)	猪狩 章
第2回	10/15(木)	それぞれにふさわしい表現の仕方(約束事と文体の研究)	
第3回	11/ 5(木)	俳句・短歌・短詩にすぐれる日本人の感性(祖先から受け継ぐ表現のDNA)	
第4回	11/19(木)	改めて確認する「取材・調査なくして執筆なし」の原則	
第5回	12/ 3(木)	ご自分の文章を本にしたくなったら(本ができるまで)	

グローバル化する社会と金融危機

主 題 日本は島国であり、外国からの影響は比較的小さいといわれていたが、グローバル化により「お金至上主義」価値観が世界を席卷し、日本経済は大きく変容した。この講座では、市場を過信する思想がいかに世界中に浸透し、金融危機に至ったかを、年代を追って解明する。私たちの「老後の備え」である年金基金が、なぜマネーゲームに踊らされたかを、マネーゲーム体験を交えて考察し、ヘッジファンドや金融工学のメカニズムを探る。最後に、金融・サービス産業の世界的拠点である中央区を、経済の視点で見つめながら、世界経済を展望していく。

講座番号 ①-8

期 間 10月～12月
時 間 午後6時30分～8時
場 所 築地社会教育会館
回 数 5回
受講料 1,500円
定 員 60名

回数	日程	講義内容	講師
第1回	10/ 1(木)	グローバル化と日本経済の変容	猪狩 章
第2回	10/ 15(木)	なぜ、世界的な金融危機が起きたのか	
第3回	11/ 5(木)	「金余り」現象が生じた背景を探る	
第4回	11/19(木)	マネーゲームと年金基金	
第5回	12/ 3(木)	中央区から世界経済を展望する	

講師紹介

猪狩 章(いかり あきら)

ジャーナリスト。東京生まれ。早稲田大学政経学部卒業後、朝日新聞社に入社。ソウル・バンコク支局長、企画第一部長、「声」編集長などを経て、編集委員、CSテレビ朝日ニュースター解説委員をつとめ、現在、学習院生涯学習センター・東京工芸大・朝日カルチャーセンター講師、日本記者クラブ会員。著書に「体験的メモ学」「心に届く文章づくり」「イカリさんの文章教室」「文章で伝える技術」など。

まなびの講座 ①-9

一般募集 15名



11/20を除く

中央区ゆかりの人物を歩くー坂本龍馬の歩いた中央区ー

主題 江戸開府から400年余、江戸・東京の文化や経済の中心であった中央区には、歴史上有名な中央区ゆかりの人物が目白押しです。その中からいろいろな人物を取り上げ、講義とゆかりの地を歩いてみようというシリーズです。

今回は、今も変わらぬ人気を持つ幕末の志士「坂本龍馬」を取り上げます。坂本龍馬はどこで中央区と繋がっているのでしょうか？ 来年のNHK大河ドラマに決まった「坂本龍馬」の足跡を一足お先にたどってみませんか？

講座番号 ①-9

期 間 10月～11月
時 間 午前10時～11時30分
場 所 築地社会教育会館ほか
回 数 3回
受講料 900円
定 員 30名

回数	日程	講義内容	講師
第1回	10/23(金)	坂本龍馬の生涯	伊東 成郎
第2回	11/ 6(金)	坂本龍馬と幕末の中央区	
第3回	11/20(金)	中央区の坂本龍馬ゆかりの地をたどる	

伊東 成郎(いとう せいろう)

幕末史研究者。明石町生まれ。明治大学文学部卒業。中央区江戸開府400年記念事業検討委員会委員(平成12年～13年)。著書に、『幕末維新秘史』『新選組二千二百四十五日』(新潮文庫)、『新選組と出会った人びと』(河出書房新社)、『新選組は京都で何をしていたか』(中央出版)共著に『坂本龍馬101の謎』『共同研究坂本龍馬』『江戸切絵図を歩く』(新人物往来社)等がある。

まなびの講座 ①-10

一般募集 15名



2/10・2/17を除く

文楽の世界を楽しむー文楽のいろは教えますー

主題 文楽初心者の方から、通の方までお楽しみいただけるよう、文楽の魅力や5回にわたりお話しします。文楽の歴史、人形の美しさ、義太夫、三味線の技など、知っているともより文楽が楽しめる講座です。第1～3回目の講義では現在活躍中のイヤホンガイド解説者から生のお話を聞くことができます。

第4回は人形遣いの方のお話、第5回は鑑賞です。この日は、文楽を陰で支える裏方さんの話を聞いてからの鑑賞になります。普段はなかなか聞けない話や、舞台裏の話が聞けるチャンスです。鑑賞の日はもちろんイヤホンガイド(無料)がご利用いただけます。

講座番号 ①-10

期 間 1月～2月
時 間 午後2時～4時
場 所 築地社会教育会館
回 数 5回
受講料 1,500円
観覧料 5,130円
定 員 60名
※4回・5回は、午前10時から
場所は国立劇場です。

回数	日程	講義内容	講師
第1回	1/20(水)	文楽は歌舞伎のお母さん～文楽の歴史について～	高木 秀樹
第2回	1/27(水)	世界一の人形芝居～文楽の音楽と人形の技について～	
第3回	2/ 3(水)	名作鑑賞の勘どころ～映像を見ながら詳しい観劇ガイド～	
第4回	2/10(水)	実演～技芸員による人形の実演	
第5回	2/17(水)	観劇～裏方の仕事の解説付～	

講師紹介

高木 秀樹(たかぎ ひでき)

イヤホンガイド解説者、文楽研究者、大学講師。NHK教育テレビ『文楽鑑賞入門』講師。著書に『あらすじで読む名作文楽50』(世界文化社)